# JAC北九だより NO.9

社団法人 日本山岳会 北九州支部 Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club 発 行: 社団法人日本山岳会北九州支部 事務局:北九州市若松区和田町11-13 大庭 常生(副支部長兼務) 方 压自宅 093-771-4538 昼 093-541-0259

発行人:秦 野 一 彦

編集人: 大庭常生・伊藤久次郎

# 紅葉の尾瀬、33人参加!

天 気 快 晴 事 故 無 し 燧ガ岳登頂



尾瀬鳩待峠 全員で記念撮影

さる10月5日から7日ま での2泊3日、北九州支部主 催で秋の尾瀬山行が行われた。 参加者33人のうち本会員1 0人、支部会員8人、ビジタ ー (一般) 15人で、燧ヶ岳 登山希望者を A 班、三条の滝 散策をB班に分け、更に A 班 を3つに分けた。全体のCL (チーフリーダー) は大楠氏、 SL (サブリーダー) は関口 氏、舛木氏

### 参加者名(敬称略)

# Aの1班(8人)

関口興洋、江頭精一、橋本建

一郎、片山俊昭、片山礼子、 高城季美子、平嶋美津子、寺 崎由紀子

### Aの2班(10人)

原広美、上野正喜、三木靖子、 藤山辰乃、安藤和子、八木励、 八木国子、八重尾幸子、坂本 千佐子、梶原誠子

### Aの3班(9人)

舛木隆、伊藤久次郎、馬場基 介、末吉史忠、高畠拓生、大 城戸昌敏、大城戸博子、田中 峻、国分進、

### B班(6人)

大楠益弘、塩谷薫、樋口洋一、樋 口由利子、古本博、古本房子





関ロサブリーダーを先頭に尾瀬ヶ原を行く

# 尾瀬特集

# 尾瀬の紅葉と 燧ガ岳サブリーダーとしての務め果たすAの1 班 門司区 JAC13643 関 口 興 洋

10月5日、総勢33 名で北九州空港から羽 田空港へ飛ぶ。

機中から夏姿の富士山が眺められるが、富士は冠雪していないと 風情がない。

羽田より貸切バスで関越道を一路戸倉へ向かう。夏のような陽気で上昇気流が発達し上空には積乱雲が湧いている。モヤのため浅間山も赤城山も視界に入って来ない。

沼田街道に入ってから皇海山と 武尊山の姿が眺められる。戸倉で シャトルバスに乗り換え鳩待峠 へ。高度が上がるにつれ徐々に紅 葉の世界に入っていく。鳩待峠は

実感しながら歩くのは実に楽しい。1時間ほど歩けば宿に近い。 宿の手前にかかる川上川の橋を渡った所で一休み。カメラを持つ人は撮影に忙しい。ビジターセンターの前を通り抜け、たおやかな姿の至仏山(2228m)を眺めながら今日の宿である尾瀬ロッジに到着。

〈行程〉羽田発 10:35 戸倉着 14:30 鳩待峠 15:15 ~ 15:30 山の鼻尾瀬ロッジ 16:30

### 10月6日。晴~曇り

朝食前の待ち時間を利用し馬場 さんの号令で準備体操を済ませ る。朝食後、直ちに出発。至仏山 を背景に朝靄に霞む尾瀬ガ原の上 田代から中田代へ向かう。

今日の目的地である燧ガ岳はま

だ靄がかかり姿を現していない が、草紅葉を堪能しながら木道を 進む。沿道には三脚を据えて本格 的に写真を撮るカメラマンが多 い。朝日を受けて輝くシラカバと 草紅葉のコントラスト、池塘と草 模様の組み合わせなどが彼等の狙 いどころのようである。中田代に 近づく頃、燧ガ岳が姿を現す。竜 宮小屋で小休止。小屋の近くを流 れる沼尻川(只見川の上流)を渡 り下田代に入る。ここから十字路 まではわずかな行程である。交通 の要衝である十字路には多くの山 小屋が賑やかに営業している。こ こで、三条の滝へ向かうB班と別



れ、A班は燧ヶ岳へ向かう。木道 から解放され、ようやく山道に入 るとホッとする。ブナやミズナラ の樹林帯に入るやいなや紅葉・黄 葉の交響曲が奏でられるような様 相を呈している。風が吹いている わけでもないのに、頭上から色づ いた葉が舞い落ちてくる度に、あ ちこちで歓声が上がる。最高の時 期にめぐりあったことに感謝する のみ。20分ほどで分岐に着く。 ヒウチへは左の見晴新道をとる。 最初は勾配の緩やかな道が続く が、1700mあたりから傾斜が きつくなってくる。大きな岩も混 じりだし踏ん張りをきかせながら 高度をぐんぐんと上げてゆく。樹 相も広葉樹林から針葉樹林へと移 行し、山頂が近くなるにつれハイ マツの世界になる。振り返ると先 程歩いてきた尾瀬ガ原の彼方に至 仏山がかすんで見える。最後の急 登をひと頑張りすると双耳峰の一 つである柴安嵓(2356m) にでる。ここがヒウチの最高地点 である。昼食時間をゆっくりとっ て休憩する。大展望を期待したが 残念ながら曇り空となり、遠方ま での視界がきかない。それでも、 標高の高い日光白根や男体山など は雲海の上に頭を出している。近 くでは会津駒の稜線がゆるやかな 曲線をえがいて伸びているのが眺 められる。平ガ岳方面は雲がかか り展望は全くきかない。昼食後、 三角点のある東側の俎 嵓(2 346m) に登り返す。岩で覆わ れた頂上は狭くて長居する場所で はないので登ってきた順に直ちに 下山する。かなり傾斜のきつい岩

英新道に入る。しばらく進むと周 囲にダケカンバが多くなる。やが てオオシラビソが目立つ針葉樹林 帯に入る。足場の悪い道がかなり 続くがそのうち次第に傾斜が緩く なり歩きやすい道に入ってゆく。 15:00を過ぎると樹林帯の道 は急に薄暗くなりだす。平坦な道 をかなり歩くと周囲が少し明るく なり尾瀬沼畔のT字路に出る。こ こから長蔵小屋はわずかである。 ヘッドランプの世話にならない時 刻に全員無事到着しほっとする。 小さな風呂であるが熱いお湯があ ふれ一日の疲れをとるのには有難 い。明日は楽な行程ということで 消灯時刻まで大いに盛り上がる。

《行程》尾瀬ロッジ06:30 竜宮小屋07:55 ~ 08:10 下田代十字路08:35 ~ 08:50 柴安嵓12:40 ~ 13

: 20 俎嵓 13:40 ミノブチ岳 13: 55~14:10 長蔵小屋16:40



長蔵小屋の一室に集まり大いに盛り上がる

### 10月7日 小雨~曇り

早朝、激しい風雨に見舞われた が出発の頃にはほとんど雨が上が り助かる。沼山峠に向けて大江湿 原の木道を進む。草紅葉が背後の オオシラビソの緑に映えてコント ラストが美しい。やがて峠道(沼 山街道) にさしかかり緩やかな登 りが続く。樹林の間から尾瀬沼が ときどき姿を見せる。沼山峠に達 するころから、紅葉見物の観光客 が続々と登ってくるのに出会う。 雨にぬれた木道を慎重に下るとバ スの待つ休憩所に到着。檜枝岐温 泉に向かう道筋は見事な紅葉・黄 葉に覆われ感動ものである。温泉 の手前に今年の7月オープンした 白旗写真記念館を有志でさっと覗 く。尾瀬の四季をとらえた見応え のあるパネルが展示されている。 檜枝岐の観光案内所で紹介された ヒウチの湯で命の洗濯をするが、 檜枝岐川を眺めながら入る露天風 呂がなかなかよい。隣の中土合休 憩所で予約したメニューで打ち上 げを行い羽田空港へ向かう。心配 された東北道の渋滞もなく一安 心。北九州空港で事務局長より締 めの挨拶があり、ビジターの方々 に対し北九州支部への入会勧誘を 行い解散。

〈行程〉長蔵小屋 08:00 沼山峠 休憩所 09:20~40 ヒウチの湯 10:45 ~ 11:35 中土合休憩所 11:40 ~ 12:45 佐野SA 15:40~15:55 羽田 空港 17:30 / 19:40 北九州空港 21:15

### 尾瀬の紅葉と三条の滝を訪ねて

### チーフリーダーの統率に感心 B班 下関市 北九 322 塩 谷

薫

10月6日(日)

出発時間 06:30 終了時間 15:30

天候 霧後晴れ

気温 AM12 度 PM16 度 総 歩数 34,000歩

経路並びに到発着時間 距離数

6:30 尾瀬ロッジ発(4.5 km 1:28) 童宮小屋 (1.6 km 0:27) 見晴十字路 (1.5 km 0:30) 温

泉小屋 (2.2 km 0:50)

10:50 三条の滝着滝撮影小休止 10:40 三条の滝発(2.2 km 1:18) 温泉小屋(1.5 km 0:28) 12:13

見晴十字路着 昼食大休止

12:55 見晴十字路発

段小屋坂(木道登り)~白砂 乗越~白砂田代~沼尻蕎麦



草草原の尾瀬ガ原

屋~沼尻湿原 14:35(1:40) 15:30 長蔵小屋着(5 km 2:30) 歩行km 18.5 所要時間 9:00(休憩含む)

長蔵小屋標高 1,667 m 10月7日(月)

天候 雨後曇り 気温 17 度 8:00 長蔵小屋発(2.3 km 1:25)

9:25 沼山峠バス停着 歩数 6,102歩 9:40 帰路につく。

木道登り

### 感想

3年前の5月半ばに訪れた ときはまだ残雪も有り水芭蕉 も少なく変化なかったが、今 回はすっかり紅葉した木々 と、草紅葉とのコントラスト も良く、散策には心癒されま した。またCL(チーフリー ダー)の統率振りは見事で全 員が、乱れなく行動できまし た。皆様おつかれでした。今 後とも宜敷くお願い致しま す。日本山岳会北九州支部の 益々のご発展を祈念します。

尾瀬の紅葉を訪ねて、に参加して

# 森中降りそそぐ木の葉に目をみはる!

下関市 一般 三 木 靖 子 Aの2班

日本山岳会という由緒ある山 行に初めて参加させてもらいま した。当初は、どうしょうか? と迷いましたが、ゆっくり登るか ら・・・ということで一度は是非 行きたいところだったので、決心 して参加させてもらうことにしま した。

羽田から貸切バスに乗り、シ ャトルバスに乗り換えて鳩待峠に 着き、記念撮影をして、山ノ鼻ま で1時間木道歩きでした。途中木 々の紅葉もとてもきれいでした。 少し早歩きのようでしたが、リー

ダーの方は30分歩行して5分間 休憩を取り入れながら尾瀬ロッジ 着。夕食後尾瀬の風景の映写会が あり、春、夏の花、木々の様子を 見せてもらい素晴らしい湿原に感 動したり、ニッコウキスゲの満開 等々は素晴らしいな、と感激した り、翌日の木道歩きでキスゲの咲 いた残がいばかりが目につき、や はり花の時期がいいなあーと思い ながら、木道を楽しく歩行、お喋 りも含めて、下田代十字路で三条 の滝コースの方々と別れて燧ガ岳 に向かいました。登山口に入ると

木の葉が、ザワッ、ザワッと降り 注いで楽しい光景に目をみはり、 素晴らしく心を和ませてくれるシ ーンがありました。山行は苦しい ながら、リーダーなる方が、皆の 様子を見ながら、休憩をとり「歩 調は良いですか」と聞いてくれた りとても親切でした。途中元気の 出る人の声が入ったりして、きつ いと思いながらも楽しく、どうに か山頂に着くことが出来ました。 お弁当のおにぎりがとても美味し い! と思われました。持ち帰っ て冷凍庫に入れているという話も 聞きました。それに入浴できたこ ともホッとした一時でした。夕食 が少し控えめ? だったかしらと 思いつつ、燧ガ岳はとても楽しい 山行でした。次は花のある尾瀬沼 公園と至仏山に行きたいと思いま す。ありがとうございました。

尾瀬山行記(Eメール原稿)

# 紅葉の美しさに心洗われる

Aの2班 厚狭郡山陽町 一般 梶 原 誠 子

日本山岳会北九州支部の尾瀬、燧ガ岳山行に参加させていただき、天候にも恵まれ、少し早いかなと思われた紅葉も素晴らしく、まず驚いたのが樹林帯に入って直ぐ大木よりの落葉がカラカラと音を立てながら舞い

しいことか・・・心洗われる思いでした。この美しい光景いつまでも残したいものです。山岳会の皆様との交流も楽しく思い出に残る山行となりました。有難うございました。宜しくお願いします。



A-2班の面々~燧ケ岳山頂

昨年の九重冬山登山から

# 九重山行報告

# 拾ったゴミ 大型ゴミ袋2杯!

田川市 JAC13499 伊藤久次郎

本年(2002 年) 5月26日(日)、27日(月)の1泊2日、日本山岳会北九州支部計画のヒマラヤ登山・・ではなく九重登山(指山、三俣山、平治岳、北大船山)に参加しました。メンバーは、大楠益弘隊長(CL)、磯野文雄副隊長(SL)、馬場基介隊員、それに支部会員の吉岡千津子、藤川美久子隊員、一般からの室津健次、信田順美隊員と私伊藤Qの8人でした。

2日間とも快晴に恵まれ、素晴らしい山行でした。第1日目は、指山と三俣山登山、そして大鍋の底を通って雨ガ池へ、法華院温泉山荘で1泊でした。ここで大楠リーダーの巧みな薦めで、酒は美味く、姉ちゃんはきれいで、しこたま飲んで翌日は苦しい登りとなるのでした。

第2日目は、猿の如く反省しながら、 苦しい平治岳へ登り、北大船山経由で



坊ガつるへ、そして雨ガ池から自然観察路経由で長者原へ。その間、腕には日本山も会の腕章をつけ、清掃登山も兼用し、拾ったゴミは大型ゴミ袋2杯でした。2日間の歩いた歩数は5万歩。いつも通

り過ぎる指山に初めて登 り満足でした。今年のミ ヤマキリシマは、どうに か咲いていましたが半数 は虫に食われ涸れていま した。以上報告終わり (E メールで送ったもの)

# 山頂や山小屋で座学

京都郡豊津町 JAC13520 西村信子

山の技術の向上と、新しき山の友を求めて北九州支部の発会 式に参加し、昨年9月本部会員 に推薦されました。

会報に掲載される山行計画に も参加の意思はあれども、自分 達の山行とダブったりしてなか なか参加できず、今回(昨年) 初めて12月23日、24日の 法華院温泉山荘泊の九重登山に 仲間入りさせてもらいました。

近場の山を歩いた顔なじみの友もいましたが、皆さんベテランばかり。今まで花をゆっくり見たりのお気楽登山でしたので、足手まといにならないだろうかと心配していましたがどうにか迷惑もかけずについて行く事が出来、大変嬉しく思っております。

 講習。

24日には体調不良の4人、 サポートの1人と別れ、10人 で山荘を8時15分発。天気は 曇り。ガスって山並みは見えな かったが、鉾立峠を経由して白 口岳へ。このコースは下った事 はあるが登るのは初めて。急斜 面をあえぎながらふと後ろを振 り返ると、大船山が雲間から覗 き、思わず写真タイムを要求。 幻想的な風景でした。雪は30 cm近くになり、山頂直下のロー プの所は特に慎重に登る。白口 岳山頂で腕時計での方位の見方、 地図とコンパスによる座学があ り、その時は理解するのだけど、 やはり、自分で行く時も実地で その都度復習しないと・・・・ 反省点でした。

稲星、中岳へと登り、池の小屋にて昼食、御池はガスの中。 北千里を通ってすがもり越、長者原と。皆さん疲れも見せず、 元気いっぱい。

長者原にて解散式。今回、山 岳会主催の山行に参加して、と ても楽しかったし、山荘や頂上 での座学、アイゼンなしの歩き 方、休憩の取り方、など山に対 する皆さんの姿勢、改めて勉強 になりました。

「1人はみんなの為に、皆はひとりの為に」大楠さんよりまれて送られてきましたが、山男、山女(?)の精神が見られた2日間でした。有難しき山の友も増えました。て、機会があれば、参加したいと思います。

# |座となり、自己紹 うございました。又

忽然と現れた大船山に歓声!

門司区

JAC 13465 大楠 益 弘

この山行は昨年12月23日、 24日の九重冬山訓練の時のもの です。すでに西村信子さんが山行 記を書いていますので、メインの 2日目だけをリーダーの大楠氏に 書いていただきました。 12月24日7時、法華院温泉 山荘にて朝食を摂る。みな食欲旺 盛。 今日の山行も順調に。8時、 山荘の看板前に集合。大船山、ガ スのため見えず。三俣山山腹も朝 もやがまとい付きあり。4人体調思わしくなく登高断念の申し出あり。 サポーターとして1人申し出あり。 やむなく5人、雨が池経由にて長者原へ下山することに決する。記念撮影。柔軟体操の後、下山するパーティ先行。見送った後、10人くたみ分かれに向け出発。

8:15白口谷登山口に至る。このコースは現在沢筋が多く、増水、 降雨時は避けるようガイド。木場道 に入る。左右20cm程の積雪あり。 兎の横断した足跡散見。

8:31くたみ分かれに至る。小休止。衣服調節する様各メンバーに指示。本日向かう白口岳はガスがべったり、上空も雲厚し。風殆ど無し。登りにかかる。妥協なしの直登。ルンゼの積雪増え雪質もパウダー状になる。

8:34休憩。雲の切れ間から薄 日が洩れる。パーティの一人やや遅 れ始める。日向、末吉両名にサポー トを依頼し、他の7人先行。

9:12標高1565m附近、大 船山のピークが、ガスの切れ間を押 しのけ忽然と我々の視界に飛び込ん でくる。その神々しさにみな思わず 息を呑み、やがて歓声に変わる。写 真休憩。ルンゼの雪も40cmを越す。 白口岳山頂岩場まで約50m。左へ 捲く道を辿ろうとするも、積雪腿ま でもぐる。ラッセルによるメンバー、 自分の疲労を考え、直登することに する。ロープに手こずるも無事山頂 に達す。(10:07) 風速や> 強まる。ガスが切れ、稲星、中岳も すっきり視野に入る。何やらをムシ ヤムシャのメンバーあり。 ジョーク を飛ばすメンバーあり。みな快調の 様子。

10:20お鉢を回り、稲星山頂へ向かう。裾野に着く頃より再びガス。小雪も混じる。やはり冬の天気、目まぐるしく変わる。

10:55稲星山頂。小休止。風 珍しく弱し。中岳へ向かう斜面はや ゝクラスト気味。下りは J カーブ状 にゆるやかにトラバースするように メンバー全員を誘導。これまで全 員アイゼン使用せず。これからも その積もり。気温さほど低くなく (零度前後)、凍結殆ど無し。

11:11白口谷下山口に到着。 遅れ気味のメンバーは直接御池小 屋に向かってもらうこととし、日 向氏にサポートを依頼する。残り 8人中岳へ。

11:31中岳山頂。視界悪く、 風やや強まる。休みもそこそこに 御池小屋に向かう。積雪深まる(5 0cm)。11:55御池小屋着。昼 食を摂る。先着組あり。狭い空間 であるがガスボンベを取り出し火 をつける。みな旅慣れて身体の温 まる即席麺を持参する者多し。熱 燗も出てくる。抜け目なし。

小屋を出て、御池畔を通る。夏 道よりも歩き易し。

12:53久住分かれに至る。 (2001年)11月4日踏査した経験から岩場がスリップし易く降りにくいので、縦列を取らず下降する様指導。案に相違し夏道よりも歩き易し。岩の窪みに雪がまり、足場の確保がしやすい所為であろう。快適なピッチで13: 32すがもり小屋着。休憩30分の予定なるも、気温低く13: 45小屋発。サブリーダーの浦田さんとトップを交替する。一路長者原へ。簡易舗装道の半ばで、朝の先発メンバーの田中、樋口両名出迎えてくれる。ホットレモンの差し入れ、冷えた身体にはとても有難い。嬉しい山の友だ。

14:33長者原着。同地にて各自解散。路面凍結さほどなし。

# 平尾台横断記

# 平尾台横断 4 万 6 0 0 0 歩!

下関市 JAC11454 井 上 佑

会の創立者、勝間建乃助先輩が昔、秋吉台を独りで横断した記録が残っていた。これに触発されたのか、自分は平尾台を横断しょうと考えていた。正確には横断ではなく、斜断になるが、一日がかりで歩くことになる。

自宅を6時30分、自転車で 下関駅までサイクリング。新田 原行きでIR日豊線の朽網駅で 下車、ただちに出発が7時40 分。住宅地を過ぎると、段々と 農村の風景にかわる。昭和池に 至るまで、子供達に多く出会う。 運動会でも行われるのか、そん ないでたちで下って行く。途切 れていた人家が昭和池の上端に 出合う。山道になり、薄暗い木 陰が続く。明るくなり林道に出 合う。林道を進むと水晶山登山 口の小さな札を見る。山路は杉 林を登る。尾根の鞍部に達し、 これからは平尾台で日をさえぎ る物はない。急斜の稜線を西に 向かい、水晶山(531m)に 行くが樹林の頂で、直ぐ引き返 し、貫山(711m)二等三角 点に登る。平尾台で最も高く、 展望も良い。水晶山分岐で小憩 のときムカデが寄ってきたので踏みつぶしたが、貫山は快適で、午前のおやつ、にする。

次の山は塔ガ峰(396m)で す。林道塔ガ峰線を下り、斜面に 取りつく。滑るので岩場を選んで 攀じる。頂上にも大岩があり、こ の上からは樹木もあり展望はすぐ れないが、貫山、竜ガ鼻、福智山 が見えた。貫山の下まで戻り、南 に向かう。549mピークを越え、 周防台(590m)と田代山(6 10m) を越し、樋ガ辻 (569 m) 三等点に着いたのが12時5 5分。地元の行橋市の山口から、 山の見回りに来たという爺ちゃん が、自宅に成る、夏みかんをくれ る。水分が不足気味でおおいに感 謝する。パラグライダーを担いで 二人が登ってきた、これを見たい が、未だ半分の距離が残っている。 目白洞の上を捲き、牡鹿鍾乳洞に 下る。自然観察センターでアクエ リアスを0.5リットルテルモス に補給。南に歩き千貫岩の円頂ピ ナクルに触り三笠台(433m) に至る。

まだ南に向かい光水鍾乳洞の横を過ぎ、485mピークに上がり、

西を見ると竜ガ鼻はまだまだ遠 い。止めようかと挫けそうにな るが、小憩し水分補給して、気 を取り直し西に向かう。この下 を石灰石を苅田まで運ぶベルト コンベアーがトンネルの中を動 いているのが、地形図で読める。 とにかく暑い。ここは、行橋市 と北九州市の小倉南区の境で、 小倉側は三菱マテリアルの敷地 であり、石灰採取場の有刺鉄線 が続いている。行橋側は急斜面 で矢山に下っていて、落ちない ように有刺鉄線沿いに進む。し かし、石灰石の断崖絶壁に直面 し、止むなく、有刺鉄線をくぐ り採石場に入る。中を見るとシ ョベルカーやダンプカーがまだ 動いている。石灰岩で日陰にな る所で、彼らの仕事が終えるの を待つ。タバコを2本吸い、軽 食を摂り、ようやく車がもどっ て行った。それっ、とばかり早 足で飛び出し、三段に分かれた 広いグランドを走るが、誰もい ないので歩いていると、ランド クルーザーに5人乗ってやって 来た。こちらを見たが、通り過 ぎていった。コンベアー係の交 代なのであろう。3分の2を過 ぎた頃、ライトバンの1人が、 今度はこちらをめがけて走って

くる。文句を言っているが、竜

ガ鼻に登るうとです。 を言うをはとが道ののといると を言うをすり、 を言うで、 をで、 をで、

国道322号を北に下り、自動販売機で缶ビールを飲みながら日田彦山線呼野駅に着いたのが18時40分。無人駅で誰もいないので、上半身裸になり、水道の水が心地よく、汗を流す。この、2、3日後には腕の皮膚が全部ボロボロに剥げてしまい、人に会うと、土方をしているのか、と言われるほど黒くなってしまった。

2002年12月発行

本日の行動、11時間。 46,850歩でありました。 満足、満足。

2001年6月

# 黒岳莊→直登コース→高塚→天狗峰→男池(8時間!)

# 黒岳 原生林を歩く

出発が30分繰り上がり、朝4時に家を後にする。

途中で浜松、西村さんと落ち合い西村さんの車にて一路 集合場所に急ぐ。

皆さんすでに時間前に集合 している。全員で11人。

簡単な自己紹介を済ませ男 池の駐車場に行き、ここで車 2台を残し黒岳莊へと向かう。

各々支度を済ませて出掛けようとすると雨が降り出す。

皆かなり憂鬱な様子だが誰 も不平を言う者はいない。

少し予定より遅れて、黒岳 莊を出る。最初から急登であ る。雨もかなり降っている。

夏のカッパの不快さに閉口しながら高度を稼ぐ。雨も小降りになり、途中からカッパを脱ぐ。途端に快適に感じる。次回の雨天時にはゴアテックスのレインハットを買うぞと心の中でつぶやく。

なんだかんだと言いながら、 途中2回のアップダウンを経 て高塚に着く。高塚で一服し 眺望を楽しむ。

高塚より天狗に向かう、天狗のピークあたりは結構岩登りの要素が強い。初心者は全般的に言ってこのルートは辛いのかなと思う。

天狗のピークの岩で皆で記念 撮影をする。ここから見渡す黒 岳周辺は本当に原生林が残って いる。

秋の紅葉はさぞ綺麗だろうと 思いをはせる。

天狗よりコルまで戻ると後は 下りのみなので皆一様に顔がほ ころんでいる。途中ガレ場があ ったが雨が幸いしてか、足元の 土が締まっており楽に下れた。

下りは結構長い、道も石が多 く濡れているので歩きにくい。

何度かスリップする、怪我をしないように皆声をかけながら歩く。今日のルートはちゃんと下見してあったので黒岳莊から登る方が正解だったと皆口々に言う。その通りだと思う。原、西村リーダーに感謝する。

やっと、男池にたどり着き皆



で 8 時間無事歩いた充実感を分かち合う。

やはり、全員が無事歩き通 したことが嬉しい。山登りは こうでなくてはと思う。

とって返して黒岳莊に戻 る。かなりの疲労感を感じな がら温泉に入りさっぱりとす る

今日の山行に対し食事をし ながら各自喋る。

酒も少し入りだんだんと話 も弾んでくる。

食事が終わり部屋に酒を持ち込み宴会となる。各人の普段は聞けないエピソードが次々と出てきて爆笑の渦である。

いろいろ言われてもニコニコして酒を飲んでいる方もいて、自分のああいう風の年の取り方をしたいなあとつくづく感じた。

年に2回くらいはこんな泊 まり込みの山行も楽しいよね

というのが皆さんの感想であ った。たしかに本当に楽しい 一夜だった。

翌日は、崩平山に登る。朝 の一本目がきつい。本当に汗 が出る。1時間程で山頂に着 くが何も見えない。さっさと

降りる。

そして又しても温泉に向か う。穴場的な温泉で観光客も一 杯いる。

風呂上がりのビールの一杯が またうまい。汗を流した後のビ ールは最高だと言いながら又飲

家にいる家族にはちょっぴ り申し訳ない気がして罪滅ぼ しにレストハウスでお土産を 買う。

早い時間に帰宅して寛ぐ。

# 紅葉を訪ねて

# 日高山脈の主峰「幌尻岳」単独行

田川郡赤池町 北九 284 太 田

北海道にマイカーで上陸し て8日目、9月27日平取町 振内から、砂利道を20㎞入 りゲートで一夜を明かした。

翌28日午前5時30分、 ライトをつけて林道を歩き出 した。

北海道の夜道はヒグマが出 没するので怖い。5日前に登 った羅臼岳では、十数メート ルの距離でヒグマが立ち上が り、肝を冷やしたが今日はす ぐ夜明けだし、大丈夫だろう。

天気予報は下り坂、今日中 に登頂して山荘に泊まる予定 で急ぐと、5㎞の林道は案外 早く終わった。それから川沿 いの登山道になり、やがて徒 渉が始まる。膝までの深さだ が、川底の石が滑らないので 渡りやすい。数えたら丁度2 0回の徒渉で幌尻山荘に着い た。山荘の管理人に宿泊の予 約をしたが、今夜の泊まりは 自分一人だろう。

サブザックで針葉樹や、ダ ケカンバの繁る急斜面を1時 間程登ると「命の水」に着い た。やがてハイマツ帯になる と、視界がひらけて、山々の 美しい紅葉が見えだした。カ ールの底に小さな沼が見えだ すと、待望の山頂が姿を現し

25日に登ったトムラウシ

や、26日の大雪山では、紅葉 と初冠雪を見られたが、幌尻岳 は初雪はまだのようだ。山頂に 着く10分くらい前に、急にガ スが湧き上がり、視界がなくな り風も強くなった。ガスった山 頂で残念だったが、写真一枚を 撮り、往路へ下山をはじめた。 山中の登山者は自分一人だか ら、事故を起こさない様に、ハ イマツの根っ子がさえぎる道を 慎重に下った。

満

山荘に戻ったのが12時前。 予定時間の半分もかからず登山 でき、また雨も近づいた。川が 増水したら何日か足止めにな る恐れもある。管理人にその 旨を告げて、宿泊を取り消し、 帰ることにした。

また徒渉、徒渉を繰り返す こと20回、登山口へ歩いた。 その夜、北海道にきて9日 目で初めての大雨となった。

### その後の山行報告

九重 黒岳 平成14年10月22日(火) 曇 単独 白水鉱泉→前岳→高塚 往復

大崩山 平成14年10月23日(水) 晴 70代男3名 祝子川→和久塚尾根→山頂

→小積尾根→祝子川

殷い 末の にふけり、 べしの声が全土にった。民衆の不満は 約ちゅ の声が全土に満ちた。 王ラ 政治に熱意を示 て周の武王 は高まり、 溺さ



吳乱の には対け 放牧に適していると 崋山の南側に 西省にある山で、

を桃林の野に放つ野原に放したこと どをする まい 周に帰って し、対詩 『運んでいた』におくり、 の支えとさせた。そして、 は、 つ」ともいう。 馬を崋山 桃

馬:

# 素敵な出会いの旅

# 「竜王山愛好会の皆で草刈って待ってるからね」

小倉北区 北九 345 高 城 季 美 子

10月に北九州支部主催の 尾瀬燧ヶ岳登山に参加したと きのことです。下関から参加 の皆さんとこの言葉で再会の 約束をして別れました。

紅葉に彩られた尾瀬の素晴 らしさもさることながら、素 敵な出会いの旅でした。

そして、その約束の日の11 月12日、九州勢13名は各々 車に分乗し、関門トンネルを 抜けて、待ち合わせ場所の深 坂峠へ。笑顔で待ち受ける懐 かしい面々。案内してくださ るのは、日頃竜王山で顔を合 わせるお仲間だそうで、コー スは竜王山(614m)・鬼ヶ城縦 走。



九州、山口総勢 25 名で午前 8時30分出発。縦走といって も、急登、転げ落ちんばかり の急降下、そしてまた急登の 連続で気を抜くところのない、 まるで私達が試されているか のようなコースでした。ここ は山口の人たちが北アルプス などにチャレンジする前にト レーニングをするコースと聞 いて納得。見晴らしの良い鬼

ケ城山頂での昼食タイムは、 下関の皆様が用意してくださ った暖かいおもてなしをご馳 走になり、これまでの疲れも 忘れるほどの心和む楽しい一 時でした。

食後、また厳しい急斜面を 下り、荷物を置いて最後のピ ーク狩音山へ。下りは落ち葉 でふかふかの登山道で、林の 中をゆったりとした気分で午 後4時前には下山することが 出来ました。あらかじめ下山 場所に廻して下さっていた車 に分乗して登山口へ戻り解散。 下関の皆様の暖かな心遣いに 感謝しつつ夫々家路に。

この次は我々九州勢が、と びきりのコースを用意して、 下関の皆様をお迎え致しまし ょう・・。尾瀬の山旅から広 がった素敵な出会いの一日で した。

# スポーツ安全保険の加入を

# 年額1400円で!

当支部としては、会員の皆様が安全 快適に山行が出来るように心掛けてい ますが、万が一の場合に備えて保険の 加入が必要です。すでに加入している 方は今後とも継続して掛けてくださ い。未加入の会員は山岳会本部の山岳 保険、その他に加入して下さい。比較 的安く掛けやすい保険をここにご案内 いたしますので、加入希望者は下記の 要領で振り込んで下さい。

記

# スポーツ安全保険

(福岡県体育協会)

この保険は、スポーツ、ボランティ ア活動、地域活動などを行う5名以上 のグループを対象として、往復途上も 含めたグループ活動中の傷害事故、及 び賠償責任を負う事故を補償するものです。

内容

死亡2000万円 後遺障害3000万円 入院4000円 通院1500円 掛金 一人年額1400円 振込先

口座名 日本山岳会北九州支部 郵便貯金口座(ぱるる) 1 7 4 1 0 - 5 7 6 3 4 7 6 1

この他に、高度な岩登り、冬山登山など、 山岳登はん専門の保険もあります。 金額がお一人年間9000円になりますの で、チョモランマ向けですね。

又、正会員になれば、日本山岳会指定の 割引保険もあります。まあ、山に行かれる 方は一つぐらいは保険に入るのが良いでし よう。最低スポーツ安全保険位は入って欲 しいと思います。

> (JAC13465 大楠益弘)

# 12月から孫年4月度での山谷計画

今後は、山のお知らせは「JAC 北九だより」だけといたします。各人宛のハガキは出しませんのでよろしくお願いします。

# 12月の山行

# 九重冬山山行(冬季初心者訓練山行)

- 1 期日 平成14年12月22日(日~23日月·祭日)
- 2 集合時間 12月22日(日)午前9時30分
- 3 集合場所 大分県九重登山口 長者原バスセンター前駐車場 (ビジターセンター前)
- 4 行程 12/22 長者原→すがもり越→久

住分かれ→久住山→久住分かれ→法華 院温泉山荘(泊)

- 12/23 法華院温泉山荘→大船山→坊ガつる→雨ガ池→長者原(解散)
- 5 費用1人1万円 (バス利用者は4千 円プラス)
- 6 申込みは、伊藤久次郎宛(すでに 30 人参加予定で締切)

# 1月の山行 犬ガ岳「冬山準備山行」

この山は、冬には比較的積雪量があり、 雪上訓練に好適です。

林間コースなので強風は避けられ冬山初 心者にもおすすめ出来ます。奮って参加し てください。

期 日 平成15年1月19日(日) 集 合 午前8時求菩提資料館駐車場 (岩岳川橋手前 千日行成満碑前) コース 駐車場→登山口→恐渕→林道

→大竿峠→一の岳→求菩提登山 口→求菩提山→求菩提資料館 (8:00~15:30)

携行品 昼食、予備食、テルモス、

手袋、予備靴下、予備下着、帽子、防寒具、雨具、スパッツ、軽アイゼン、ストック、ヘッドランプ、地図、コンパス等

リーダー 大楠益弘 浜松礼子 参加費用(事務通信費等)

> 会 員 500円 ビジター (一般) 1000円

締 切 12月27日(金)

申込先

TEL.FAX 0930-23-4355 申込み方法 ハガキまたは FAX で。

# 2月の山行 大山「冬山キャンプ山行」

期日 2月8日(土)~11日(火) 交通 西鉄夜行バス予定(7日金) 費用 未定(18000円~) コース 夏山登山道を登る。 (積雪2mくらいあり)

ベースキャンプ 山麓でテント泊。

又、元谷周辺で雪上訓練。

装備 冬山完全装備

参加条件 12 月の九重冬山山行に参加した方、又は、1月の犬ガ岳山行に参加できる方。

申込先 〒 801-0841 門司区東本町1-7-28-201 板倉健一 版 093-321-1038(自宅) 093-331-1031(勤務)

申込み方法 ハガキ、FAX、

締切 12月25日(水)まで

# 3月の山行

# 福智山~牛斬山縦走

早春のひととき、福智山より少し足を延 ばして、牛斬山まで縦走してみませんか?

期 日 平成15年3月9日(日)

集 合 日田英彦山線JR石原町駅 7時40分(交通費実費)。

タクシーにて増淵ダム堰堤まで移動 (乗車の方で割り勘)

コース 増淵ダム堰堤8:10→福智 山頂(10:20、10:40)→赤牟田 の辻(12:00、12:40)

→牛斬山→JR採銅所駅 16:20 →

JR小倉方面(16:53、17:29) JR田川方面(16:59、17:35)

ス、手袋、防寒具、ヘッドランプ、

携行品 雨具、昼食、行動食、テルモ

ストック、地図、コンパス、 その他

リーダー 西村信子 原 広美 申込先

〒 824-0121 京都郡豊津町豊津 1100-3 西 村 信 子

TEL.FAX 0930-33-4618 申込み方法 ハガキまたは FAX にて

締 切 平成15年2月22日(土)

# 4月の山行

山口県最高峰

# 寂地山~冠山 縦走

1337m 1339m

期 日 平成15年4月29日(火・祭日)

集 合 JR門司駅前と下関駅前 午前6時30分 午前7時00分

交 通 マイクロバス予定(22人限定)

コース 松の木峠 (広島県境)→冠山 →寂地山→寂地峡

リーダー 原 広美 ほか

申込先 〒 752-0945

下関市長府豊浦町6-31

原 広美

TEL・FAX 0832-45-5490 申込み方法 ハガキ又は FAX にて

締 切 平成15年3月15日(土)

(詳細については、計画書で)

# お知らせ

### ○ 支部事務局の変更

江頭精一事務局長が仕事の関係で、11 月初旬、名古屋へ転勤になりました。

その後継として、**大庭常生**副支部長が事務局を兼務することになりました。

### 新事務局の連絡先は

昼 小倉北区中津口 小倉紫水会館内 長野県九州観光情報センター

TEL 093-541-0259

FAX 093-551-2375

自宅 TEL 093-771-4538

尚、事務局補佐連絡係として役員の

関口興洋(093-382-6436)

がこれにあたります。

# お願い

### ○ 写真代は、一枚50円で

山行の都度記念写真やスナップ写真を 撮り、写った人に上げる場合、数が多い と写真代もバカになりません。撮す人は いつも損をすることになります。

写真を貰う人は、フイルム代など含めて、今後は写真1枚につき50円を支払 うようにしようと、話がまとまりました。



# 11月の定例役員会から

# ○ 会員の状況

# 4月1日以降の新登録会員(正会員)

末 吉 史 忠 (13642) 4月19日 関口興洋 (13643)同 桶口 (13694) 6月19日 両 村 上 強 (13708)7月16日 藤田 傳 (13722)9月19日 片山俊昭 (13738) 10月16日 " 礼子 (13739)IJ 橋本 建一郎 10月17日 (13743)

# 4月1日以降の新入会員(支部会員)

立野 卯三男 4月11日 (348)西村俊二 (349)4月20日 西村一利 5月 8日 (350)樋口 (351)5月23日 両 中澤恵子 (352)11月 1日 深川悦洋 10月16日 (353)深川暁子 (354)司 宮城尚志 10月19日 (355)坂 本 勝 喜 (356) # むつみ (357)

# ○お詫び

会計 兼 光 功(13467)

前号の「比力だより」で会員名簿(2002.9.1 現在)を全会員に配布予定と報告いたしましたが、名簿の原稿を精査したところ、不備な部分があることが判り、現在正確を期すための確認作業を進めております。次期総会までに皆様にお届けする予定ですのでもうしばらくお待ち下さい。

# 4月までの行事、山行計画

- ○12月7日(土)
  - 全国年次晩餐会(東京・新高輪プリンスホテル) 参加者 吉村、秦野、日向、関口、兼光、 大楠、高畠、板倉の各氏計8人
- 12月22日(日)~23日(月)九重「久住山、大船山」初心者冬山訓練山行参加者30 人
- ○1月19日(日)犬ガ岳 冬山準備山行 参加者実費
- ○2月8日(土)~10日(月)大山 「冬山山行」夏山登山道~山頂 ベースキャンプ 参加費18,000円位(交通費込み)冬山個人装備を必要
- ○2月22日(土)~23日(日) 全国事務局会議(東京) 大庭副支部長が出席予定
- ○3月初旬 JAC 北九だより第10号発行予定
- ○3月9日(日) 福智山~牛斬山縦走 親睦登山 参加費無料
- ○4月29日(火) 山口県・寂地山〜冠山縦走 集合 JR 門司駅前・下関駅前 マイクロバス予定 費用実費

(各山行計画は10ページに掲載)

# 編集後記

# ○ 江頭事務局長転勤!大庭副支部長が兼務

9月の臨時総会で新事務局長となり、ようやく会の運営を軌道に乗せようとしていた江頭事務局長が、11月8日付で名古屋の勤務先へ栄転されました。

名古屋では、約2年間の勤務 ということで、「その間、日本山 岳会東海支部にも顔を出し、活 動実態をこの目で見て、北九州 支部の為に役立てたい」と出発 を前に語っておられました。 2 年後の活動が楽しみです。尚、 後任は大庭副支部長が兼務し、 役員の関口興洋氏と西村信子さ んがサポートします。

○ 今回は、ページが増えた事をお気づきと思います。半年分の原稿が溜まっておりました。 更に写真入り尾瀬特集が重なり、ページが増えたのです。これだけの原稿を打つのは大変でした。今回掲載出来なかった原 稿は次回、そのまた次回へまわ しますのであしからずご了承下 さい。

原稿は、伊藤久次郎までお送り下さい。 郵便、FAX(新設)、 $E + \nu$ とれでも。 $E \times \nu$ の場合アドレスは(qito@mx71.tiki.ne.jp)です。又その時の写真もお送り下さい。郵送、 $E \times \nu$ とからでも。

(住所 〒826-0032 田川市西平松 11-8。 Ta 0947-42-2772 携帯 090-8837-2696) (伊藤Q)